



Look Beyond Yourself 自分を越えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内 TEL 35-3477
FAX 32-7095

出席者会員数 会員 74名中 52名

先々週出席率 94.37% (前年同期 92.11%)

今日のお花 スプレー菊

ヴィジター 三条南より 野島廣一郎君、西巻克郎君、大竹和男君
三条北より 梨木建夫君、江口 悟君

先週のメイクアップ 9/2 三条南へ 古沢富雄君、池田千秋君、加藤紋次郎君、
斎藤弘文君、外山一郎君、吉井俊介君

9/3 三条北へ 野村竹三郎君、山谷春夫君

9/4 GSE委員会(新潟)へ 吉井俊介君

会長挨拶 渡辺(宏)会長

先週の納涼例会には、ご夫人方8名を始め、大勢の皆さんの参加を戴き、ありがとうございました。私も家内と同伴で参加して楽しませて戴きました。親睦活動委員会の皆さんご苦労さんでした。

先週・先々週と約95%の出席率で喜んでおります。その前は90%を割っており、一喜一憂しております。出席率向上にご協力お願い致します。

隣の国ソ連のクーデターは失敗し、一応平静を取り戻しましたが、国の態勢が決まらず、

分裂の懸念も有ります。新たに核兵器の拡散の危ぐが生まれ、問題に為っています。余りに巨大なエネルギーを手にした人類にとって、常に頭の痛い課題で、最悪の場合は人類を全滅させるだけの核兵器が現存しています。何とか人類の英知で、こんな危険な状態を無くしたいものです。

幹事報告 石橋幹事

◎三条クリーン協議会より

全市一斉クリーンデー実施についてご案内がとどいております。

と き 9月8日(日) AM6:30~

と ころ 第2産業道路歩道(第四銀行北支店~石上大橋手前付近)

集合場所 三条警察署前

参加人数 各団体5名以上

ニコニコBOX ¥20,000

9月4日分

- 渡辺(宏)君 納涼例会に女房同伴で出席して楽しくすごしました。親睦委員会ご苦勞様でした。先週・先々週共95%前後の出席でした。
- 石橋君 先週の夜の例会高森親睦委員長始め、委員の皆様大変御苦勞様でした。又次週の早期例会おせわになります。
- 岩井君 母の死亡に際しましては、クラブよりご香典を頂き、尚かつ会長始め皆様方よりご焼香を賜わりありがとうございました。
- 外山(雅)君 先日の納涼懇親会では親睦委員の皆様にご大変御世話様になりました。
- 伊藤君 一時からの次の会に出席しなければなりませんのですみませんが早退させていただきます。
- 五十嵐(総)君 久しぶりの卓話です。よろしくお願ひ致します。
- 轡田君 家族で北海道へ行って来ました。予定どおりで、とても楽しい旅行でした。
- 内山(昭)君 家内が誕生祝いに花束を戴き、喜こんで居りました。有難うございます。
- 細井君 先週の納涼例会大変楽しく過させていただきました。
- 山谷君 アメリカ東海岸のニューヨーク、ワシントン、マイアミ、オーランドを廻って来ました。7日間のハードスケジュールでしたが、無事帰って来ました。

卓話

五十嵐総一会員

私は、昭和54年の8月に入会致し、早や11年に至ったわけですが、やはり緊張致します。

此度の卓話で3回目となりますが、前回2回共大学時代にフェンシングをやっておりましたので、フェンシングを通じて体育会での思い出話をさせていただきました。今回も思いましたが、剣も錆っておりますし、私の体も錆はじめましたので、話題を変えて青少年活動月間という事で、ライラの事についてお話しさせていただきます。

6月16日地区協に出席し、本年度より青少年奉仕委員会並びにライラ委員会に変わったわけで、その理由は青少年活動にはライラが中心になっておりますのでもっとロータリアンにライラの事についてご理解とご協力をお願いしたいということで、今年も10月5日~10月6日に国立赤城青年の家にて開催されます。

私も、この委員会を担当になって、ライラの事、ようやく理解したしだいで、お恥しい事です。

ここでライラの中についてご紹介致します。

RYLAとは

国際ロータリーでは、ローターアクト・インターアクトをはじめ沢山の青少年に対する奉仕活動および青少年と共に行動する奉仕活動を実施しておりますが、「ライラ」もその中の一つです。

「ライラ」(青少年指導者養成プログラム)は地区全体(群馬・新潟)にわたり、若い人とロータリアンを参加させる地区のプロジェクトであり、若い人の、指導者および善良な市民としての素質を伸ばすことを目的としたものであります。

RYLAとは Rotary Youth Leadership Awards の頭文字をとったもので「ロータリー青少年指導者養成プログラム」と邦訳しております。

「RYLA」プログラムは、世界各地でいろいろな形で行われておりますが、ほとんどのプログラムは、セミナーが指導者キャンプのどちらかの方式をとることが多いようです。日本では主にセミナー方式で実施されております。

参加者は18歳~30歳の青年男女と各ロータリークラブの、青少年奉仕委員会、並びにライラ委員会委員長です。ローターアクト委員会のメンバーにも呼びかけて実施しています。その選考は各ロータリークラブで行います。

参加費用(食費、宿泊費、旅費等)はロータリークラブが全額負担いたします。

参加者は修了証をうけますが、その授与は各ロータリークラブで行われるのが通例です。プログラムの内容は、多様性を要求されます。そしてそのことが指導者養成につながる



ことになります。いろいろな分野についてロータリアンと一緒に考えます。専門家による講演や分科会でのディスカッションも計画されておりますし、研修参加者の意見の発表の場も用意されております。

第11回RYLA研修の紹介

●第一日目

☆研修生が希望する分科会に参加し、講師のお話を聞いたり、研修生の考え方を発表したりします。それぞれ魅力ある6つのテーマを用意しました。希望する分科会に申し込み下さい。

第1分科会「話し方、聞き方」

講師 清水正巳先生 リーダー 下山昭三(桐生南)

第2分科会「女性が管理職についた場合、そのときあなたはどのようにするか？」

講師 未定 リーダー 大林正夫(前橋)

第3分科会「結婚したいと思う年齢」

講師 野崎留美子先生 リーダー 矢尾章二(伊勢崎)

第4分科会「共働き家庭での家事分担」

講師 若槻繁隆先生 リーダー 大沼和也(新発田)

第5分科会「ストレスと上手につきあうには」

講師 平野 馨先生 リーダー 梨本清一(三条北)

第6分科会「外国から見た日本」

講師 トレバー・ベイリー先生 ミッシェル・ベイリー先生

リーダー 朝倉泰(桐生南)

交 歓

●ゲーム・ソング・ダンス

レクリエーション活動には、社会生活の中での気分転換や疲労回復、人間関係の改善、創造性の伸長などの機能があります。

中でも、気軽に取り組むことのできる「ゲーム・ソング・ダンス」等のレクリエーションプログラムは、研修意欲を高め、人間関係の改善や積極性を伸ばすのに効果があり、集団生活を円滑にすすめるのに適しています。

●第二日目

☆講演 演題「人生を豊かに生きるために」

群馬大学医学部医療技術短期大学部 部長 医学博士 土屋 純先生

未だ時間がありますから、商売柄羊毛に関係しておりますので、又昨年11月に東洋紡の方他30名でオーストラリア、ニュージーランドへ羊毛視察に行ってきたので、さわり

だけを。

羊毛のことをウールと言いますが、カシミヤ、モヘア、キャメル、アルパカ等はウールとは言わず、獣毛ニヘアーと言って区別されます。

羊にはさまざまな種類があり、その代表種がメリノであるが、これ自体にもオーストラリア産、ニュージーランド産などで品種改良による多くの種類があります。

世界の産毛量は17億8100万Kで、オーストラリア29%、ニュージーランド12%という具合に半分位を占めます。

メリノ種は、オーストラリア産の3/4以上を占めて衣料用に供給され他ニュージーランド産はカーペット向けなどの太番手羊毛の供給国ナンバーワンだそうです。

羊の歴史がかなり古いというのは良く知られています。700万~1500万年前のヨーロッパや南インドに生息したカモシカ類がルーツらしい。

これが牛、羊、山羊、ジャコウ牛、カモシカ等に分化したようだ。聖書にも数多くの羊の話が出てくるが当時の牧羊は羊毛採取が第一目的でなく、角を楽器にしたり、化粧用のオイルだったり、一般的には皮を衣料や酒袋にそしてミルクと羊乳、酒、チーズをつくらせていた。

衣料用のウールの素晴らしさは、加工技術の発達とともにさらに磨きがかかり、ライフスタイルの基幹を支える繊維として高く評価され、その特徴のポイントは、よごれにくい、吸湿性が大きい、あたたかい、染めやすい等に 있습니다。5分前ですので、次回はもっと羊毛についてくわしくご説明させて頂く事にして終わります。

私の座右銘

内山辰策 会員

意なく必なく固なく我なし

これは「論語」の中で弟子が孔子の人格をたたえて述べた言葉です。

この格言はややもすると自分の主体性を欠き、風和、雷同、迎合主義の様に聞こえますが、本意は自分勝手な考え、無理押し、頑固さ等の、自己本位の行動を没却し、浄化することです。

いいかえれば、広い視野に立って客観的に物事を判断し、人の意見に十分耳を傾け、すべてのことに広い心をもって柔軟に対応し、どの様な場合でも相手の立場を思いやって行動することです。

ところが、私達の心の中は、意・必・固・我の自我が充満して居ります。そのため人を傷つけ、自分も傷つき、人間関係が思わしくなくなり、ついには進退窮まってしまうこともあります。

とかく利己的にはたらきやすい食欲、性的欲求や、所有欲、知識欲などの社会的欲求を淨化して、正しく活用する様に努めたいものです。

会員家族紹介 村木 修会員

転勤族には単身赴任が避けられない。通算10年近く三条や東京の社宅住いで前後5回自宅を離れ、独身を享受している。

——幸せか不幸か——

従って、女房は暇を持て余し山歩きを覚え、週末に帰宅しても山に出かけてスレ違いというケースもある。

——あーあ——

本年元旦に急に山に行こうと言い

出し、子供達も賛成したため仕方なく長靴を履き、1 m 弱の雪を踏み分け900 m 余の大蔵岳に登った。元旦に長靴登山するキチガイはいないと思っていたら何組ものパーティに会った。

——ヒマな人の多いこと——

写真の長女は嫁にも行かず新しい仕事をトラバーク中。長男はアメリカに2年間勉強という名の遊びに出かけてしまい、もう1人87歳の老母と一応5人がわが家の住民届の家族であります。

——変わった家族——



味の奥口

9月11日例会 早朝例会 AM 5:30~於 本成寺

9月18日例会 クラブアッセンブリー

9月25日例会 卓話 新教育委員長 永塚光雄殿